



平成 27 年 6 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 J-オイルミルズ  
 代表者名 代表取締役社長 榎田 純和  
 (コード番号: 2613 東証第 1 部)  
 問合せ先 執行役員 財務部長 立見 健一  
 (TEL 03-5148-7100)

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成 27 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 27 年 5 月 13 日に発表いたしました「平成 27 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】

(1) サマリー情報 2 ページ

(参考) 個別業績の概要

平成 27 年 3 月期の個別業績 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(訂正前)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期	185,887	△5.4	4,248	△23.2	4,982	△21.3	3,355	△11.4
26 年 3 月期	196,444	9.8	5,532	3.0	<u>6,237</u>	7.3	3,785	△0.2

(訂正後)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 3 月期	185,887	△5.4	4,248	△23.2	4,982	△21.3	3,355	△11.4
26 年 3 月期	196,444	9.8	5,532	3.0	<u>6,327</u>	7.3	3,785	△0.2

(2) 添付資料 13 ページ

4. 連結財務諸表

(3) 連結株主資本等変動計算書

(訂正前)

当連結会計年度 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日)

(訂正後)

当連結会計年度 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)

(3) 添付資料 16、17、18、22ページ

4. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

(訂正前)

(省略)

なお、当連結会計年度の1株当たり純資産額は6.09円減少しており、1株当たり当期純利益金額への影響は軽微であります。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式がないため影響はありません。

(訂正後)

(省略)

なお、当連結会計年度の1株当たり純資産額は6.09円増加しており、1株当たり当期純利益金額への影響は軽微であります。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式がないため影響はありません。

(連結損益計算書関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)																
(省略)	(省略)																
<p>3. 研究開発費は一般管理費及び当期製造費用に含まれており、<u>1,575</u>百万円であります。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p> <p>7. 減損損失の内容は次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">兵庫県 神戸市他</td> <td style="text-align: center;">処分予定 資産他</td> <td style="text-align: center;">建物及び 構築物、 機械装置 等</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、事業資産においては事業区分を基準に、本社・研究所等に関しては共用資産として資産のグルーピングを行っております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産や処分の意思決定をした資産については、個別の資産グループとして取り扱っております。</p> <p>その結果、処分の意思決定を行った一部の事業資産と遊休資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(51百万円)として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物、機械装置等であります。</p> <p>なお、回収可能価額については正味売却価額を使用し、主として処分見込価額により算定しております。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p>	場所	用途	種類	その他	兵庫県 神戸市他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—	<p>3. 研究開発費は一般管理費及び当期製造費用に含まれており、<u>1,470</u>百万円であります。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p> <p>7. 減損損失の内容は次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">静岡県 静岡市他</td> <td style="text-align: center;">処分予定 資産他</td> <td style="text-align: center;">建物及び 構築物、 機械装置 等</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、事業資産においては事業区分を基準に、本社・研究所等に関しては共用資産として資産のグルーピングを行っております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産や処分の意思決定をした資産については、個別の資産グループとして取り扱っております。</p> <p>その結果、処分の意思決定を行った一部の事業資産と遊休資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(254百万円)として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物、機械装置等であります。</p> <p>なお、回収可能価額については正味売却価額を使用し、主として処分見込価額により算定しております。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p>	場所	用途	種類	その他	静岡県 静岡市他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—
場所	用途	種類	その他														
兵庫県 神戸市他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—														
場所	用途	種類	その他														
静岡県 静岡市他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—														

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)																
(省略)	(省略)																
3. 研究開発費は一般管理費及び当期製造費用に含まれており、 <u>1,533</u> 百万円であります。	3. 研究開発費は一般管理費及び当期製造費用に含まれており、 <u>1,470</u> 百万円であります。																
(省略)	(省略)																
7. 減損損失の内容は次のとおりであります。	7. 減損損失の内容は次のとおりであります。																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 20%;">用途</th> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 40%;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三重県 四日市市 他</td> <td>処分予定 資産他</td> <td>建物及び 構築物、 機械装置 等</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	場所	用途	種類	その他	三重県 四日市市 他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 20%;">用途</th> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 40%;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>静岡県 静岡市他</td> <td>処分予定 資産他</td> <td>建物及び 構築物、 機械装置 等</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	場所	用途	種類	その他	静岡県 静岡市他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—
場所	用途	種類	その他														
三重県 四日市市 他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—														
場所	用途	種類	その他														
静岡県 静岡市他	処分予定 資産他	建物及び 構築物、 機械装置 等	—														
<p>当社グループは、事業資産においては事業区分を基準に、本社・研究所等に関しては共用資産として資産のグルーピングを行っております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産や処分の意思決定をした資産については、個別の資産グループとして取り扱っております。</p> <p>その結果、処分の意思決定を行った一部の事業資産と遊休資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（51百万円）として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物、機械装置等であります。</p> <p>なお、回収可能価額については正味売却価額を使用し、主として処分見込価額により算定しております。</p>	<p>当社グループは、事業資産においては事業区分を基準に、本社・研究所等に関しては共用資産として資産のグルーピングを行っております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産や処分の意思決定をした資産については、個別の資産グループとして取り扱っております。</p> <p>その結果、処分の意思決定を行った一部の事業資産と遊休資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（254百万円）として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物、機械装置等であります。</p> <p>なお、回収可能価額については正味売却価額を使用し、主として処分見込価額により算定しております。</p>																
(省略)	(省略)																

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	177,955	15,928	193,884	—	193,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	323	51	375	△375	—
計	178,279	15,980	194,260	△375	193,884
セグメント利益	7,170	134	7,305	△3,112	4,193
セグメント資産	121,008	12,518	133,526	23,555	157,082
その他の項目					
減価償却費	5,181	297	5,479	458	5,937
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	<u>3,366</u>	195	<u>3,561</u>	<u>331</u>	<u>3,893</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	177,955	15,928	193,884	—	193,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	323	51	375	△375	—
計	178,279	15,980	194,260	△375	193,884
セグメント利益	7,170	134	7,305	△3,112	4,193
セグメント資産	121,008	12,518	133,526	23,555	157,082
その他の項目					
減価償却費	5,181	297	5,479	458	5,937
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	<u>3,404</u>	195	<u>3,599</u>	<u>338</u>	<u>3,938</u>

以上